

るため円滑な交流が行われるよう努力した次第である。

交流についてかえりみると、

- (1) へき地と平地との交流は、全県的に歩調をそろえ計画的に実施したため、へき地勤務者に明るい希望を与えた。
- (2) 他管内との交流については、一対一の交流が解消されつつあることは喜ばしいことである。
- (3) 教育効果第一主義の交流に主眼をおいて実施したがまだまだ希望人事の傾向がのこされている。
- (4) 他県との交流は相当数の実現をみたことは、各県人事関係者の協力によるものと考えられる。

B 県立学校

a, 年度末人事異動の概要

県下全域にわたり教育の向上と刷新充実をはかるべく教職員の適正配置に大きな努力が払われた。

しかしながら、勿来工業高校の新設をはじめとし、福島工業高校、会津工業高校の電気科、電子科の新設、福島工業高校、会津工業高校、小名浜水産高校の産業科の新設等、工業関係諸学校への増員が行われたにも拘わらず、一方においては、中学校卒業者数の減少を考慮しての募集停止や定時制の廃止等にともなう減員の措置をする面も生じ、この両面の調整に種々なる配慮が行われた。さらに、また退職者の後任補充及びこれにつながる異動を中心としていわゆる欠員補充の異動が主となり、その他の交流について考慮を払う余裕がなかったため今回の異動の初期の目的をじゅうぶんには達成できなかつたことは遺憾であるが、各学校長各位のご協力によって過員を最小限に止め得た点は幸であった。

b, 内容の主なもの

1, 異動件数は事務職員雇傭人の異動を除いて約300件にのぼったが、工業関係学校への増員と退職者の後任補充のためのものが大部分で、その他の異動については必要最小限度にとどめた次第である。

2, この異動件数のうち、全日制と定時制との交流及び僻地から平地への転出が約40件含まれている。

3, 療休者の復職が相当数あり、補充として採用していた教員は、いずれも優秀な教員であるので優先的に欠員補充に採用し、全員教諭に任用することができた。

4, 高等学校から小・中学校に転出した者の数は12名で小・中学校から高校への採用は主として工業関係の教員であるが、15名の多数にのぼっている。このうち高校教員から中学校長への採用1名が含まれている。

5, 新採用については、教員の定数増がなかったにもかかわらず、自然退職、他県転出が意外に多かったので中学校から15名の採用をしたほか、約40名の優秀な教員を採用することができ、清新の気を注入し得たことは、よろこびにたえないところである。

6, 校長の新採用については、社教課長の校長転出の外部長、教頭から4名の校長新採用ができたことはよろこばしい次第である。

7, 年度末ご勇退いただいた方々は校長を含めて26名であるが、これらの方々が多年にわたり本県教育界に貢

献されたご功績に対し深甚なる敬意と感謝を捧げる次第である。

又、退職年令についても逐年その延長を見ていることはよろこばしいことである。

2 学力の向上

A 概 説

「児童生徒の学力の向上は、その学習指導にたずさわる小・中学校の教職員の資質の向上と指導法の改善が先決されなければ達成は望めない。それゆえ、現職教育を充実し、資質の向上をはかるとともに、指導組織を強化して、効果的な助言を行ない、学習指導法の研究を推進する必要がある。また教育研究団体による自主的研究を盛んにし、あわせて教員一人一人の自己研修をも振興する等、あらゆる面から研修態勢の充実強化をはかったのである。

教育課程の改訂は、小・中学校は移行期間から実施へと確実な歩みを続け、小学校は36年度から、中学校は37年度から実施の段階にはいるので、教育課程研究協議会も第2回目を開催、関係教員の3分の2以上の研修を終了した。また高等学校の教育課程も、小・中学校に引き続き改訂され、38年度から学年進行によって実施することになり、本年第1回の教育課程の研究協議会が開催された。

その他一般の研修としては、従来の中心の研修に転換実施し、また新たに文部省と共に小中学校長研修会を実施した。各教科目の研修のためには、研究指定校の設置のほか、教育研究団体の助成を強化し、研究活動の活発化をはかった。学校長等の海外教育事情視察については、今年度は中学校長代表として福島第二中学校長西沢長吉氏を派遣した。

B 指導組織の強化

本庁の指導係の組織は、10名の指導主事と3名の指導委員により構成され、教科指導を中心とし、指導行政全般に当っている。出張所32名の指導係は、小・中学校全般の指導を担当し、管内学校の教職員に対する指導助言を担当し、本庁との連絡により確実な効果を挙げているこれら出張所指導係は本年度から全員充て指導主事に任命され、従来より安定した気分で存分に活動することができるようになった。

指導委員は80名は、前年度に引き継ぎ伴なう教科を中心とし、指導係の相談役として、教科学習指導技術の向上に協力し、多大の成果をおさめた。

昭和35年度指導委員

信夫	音楽	山田	公子	大森中
〃	図工	吉田	為明	福女高
〃	職業	渡辺	好光	福工高
〃	家庭	堀川	千枝	福農高